

高校生の野外学習をお手伝い ～身近な自然環境をテーマにした地域環境研究～

豊橋河川事務所では、愛知県立豊田東高等学校の第1学年が取り組んでいる「産業社会と人間」の授業について、平成24年から講演会及び野外学習の活動を支援しています。

豊橋河川事務所が管理している矢作川の御立地区では、市民・行政・研究者が一体となった協働管理に取り組んでおり、豊田東高校でも身近な自然環境をテーマに地域環境研究を実施し今年で3年目になります。

◆講演会 日時:平成26年10月20日

講演会では第1学年6クラス(240人)を対象に、協働管理の中心となっている河川協力団体のNPO法人矢作川森林塾の裕理事長と、矢作川を管理している豊橋河川事務所の岡崎出張所が講演を実施しました。



NPO法人矢作川森林塾の裕理事長の講演の様子



講演を熱心に聞き入る豊田東高校1年生

講演では豊橋河川事務所の岡崎出張所が平成23年度に実施した、御立地区の河道掘削工事で地域住民の意見を計画・施工に反映した工事の概要と、完成からこれまで取り組んできた「順応的管理」についての経過を説明しました。裕理事長からは『市民主導の官民協同活動で自然を造る』をテーマに「無からの自然への再生」への挑戦としての、NPO法人矢作川森林塾の取組と、また自然を造るチャレンジの過程から、自然を愛し・自然の摂理を理解する心から生まれる、仲間との「感動の共有」「感動の絆」が生まれるとして、『自分からできる事から行動しよう』と聴講生のみなさんに訴えました。

また、本日の講演をうけ10月27日には矢作川御立地区において、豊田東高の1年生240名の参加で野外活動が実施されます。

高校生の野外学習をお手伝い ～身近な自然環境をテーマにした地域環境研究～

◆野外学習 日時:平成26年10月27日

野外学習では第1学年240人を10班に編成し、NPO法人矢作川森林塾・豊田市(矢作川研究所)・豊橋河川事務所の職員と一緒に、河川清掃活動、水生生物調査などの野外学習を実施しました。



NPO矢作川森林塾の理事長のあいさつ



新しく生えた竹林の伐採の様子



矢作川研究所の指導による水生生物調査の様子



伐採した竹等を手渡しでの運搬の様子



オニグルミ・ツバキ等の実の採取(実習教材に使用)



河川漂流物のゴミをリヤカーで運搬

野外学習では、豊田東高校から徒歩により御立地区に集合しました、3年間にわたって順応的管理をしてきた「せせらぎ」や「池(湧水池)」や陸上の「河畔林や植生」が毎年の洪水等による影響で大きく変貌してきました。

当日は河川環境への取組として河畔林の整備や漂着ゴミ等の除去、水生生物の調査をはじめ、NPO法人矢作川森林塾が先の講演で提案したさまざまな取り組みに対して2時間にわたり野外活動に取り組みました。

今後、豊田東高校が行う『地域環境研究』とESD(持続可能な社会を支える担い手づくり)の取り組みと、矢作川森林塾が新しく登録された「河川協力団体制度」とが融合して、河川環境の良好な維持管理と学校教育とが融合した取組に発展してきています。